

7 保健・福祉サービスの利用意向

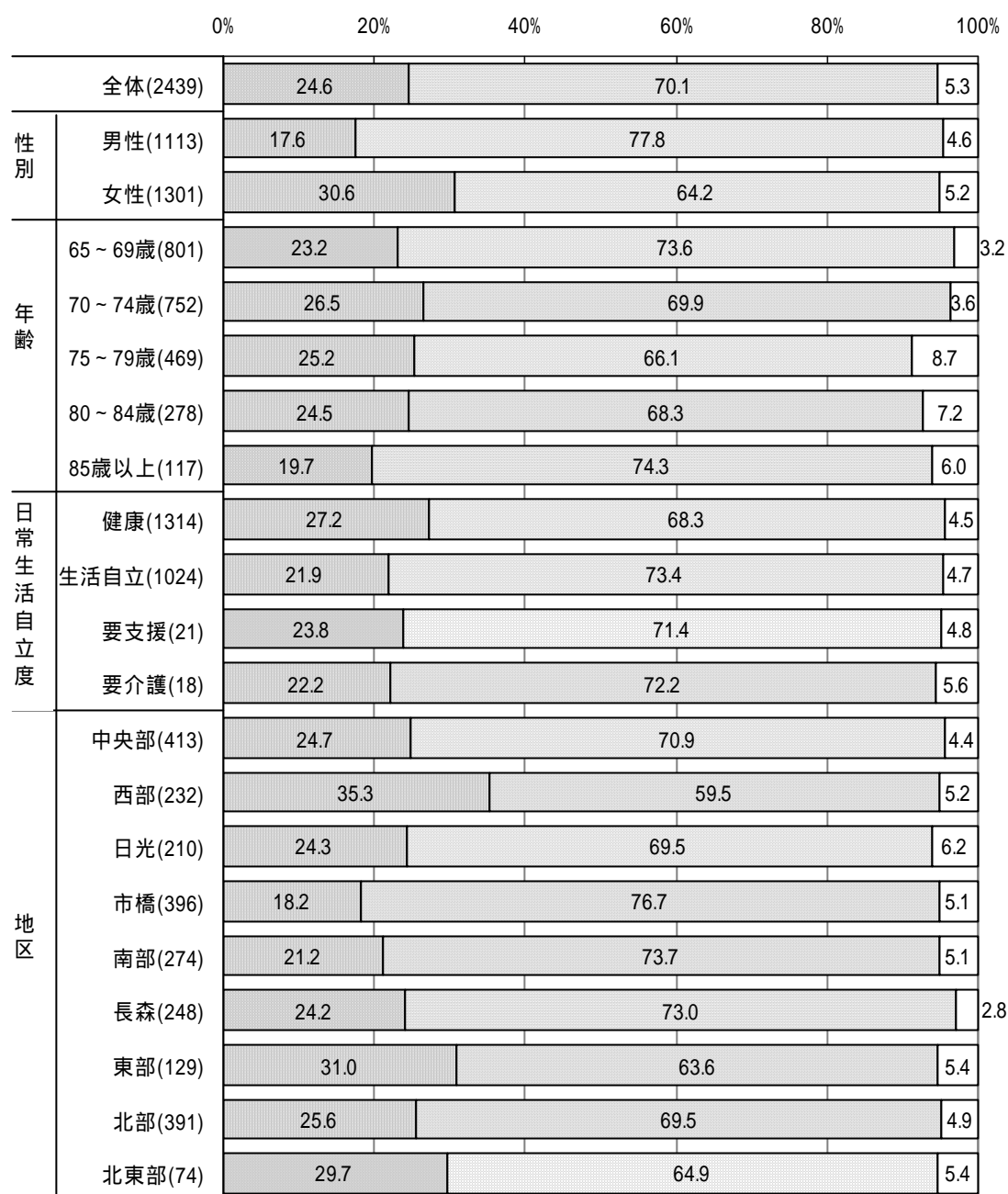
(1) 健康教育や健康相談

【受けた経験】

健康教育や健康相談を受けたことのある人は、24.6%となっています。性別では男性が低く、年齢別では85歳以上で低くなっています。また、日常生活自立度別では健康の人が高くなっています。

地区別にみると、西部、東部で30%以上が受けた経験があります。

図1 - 11 健康教育や健康相談を受けた経験



□ 受けたことがある □ 受けたことがない □ 無回答

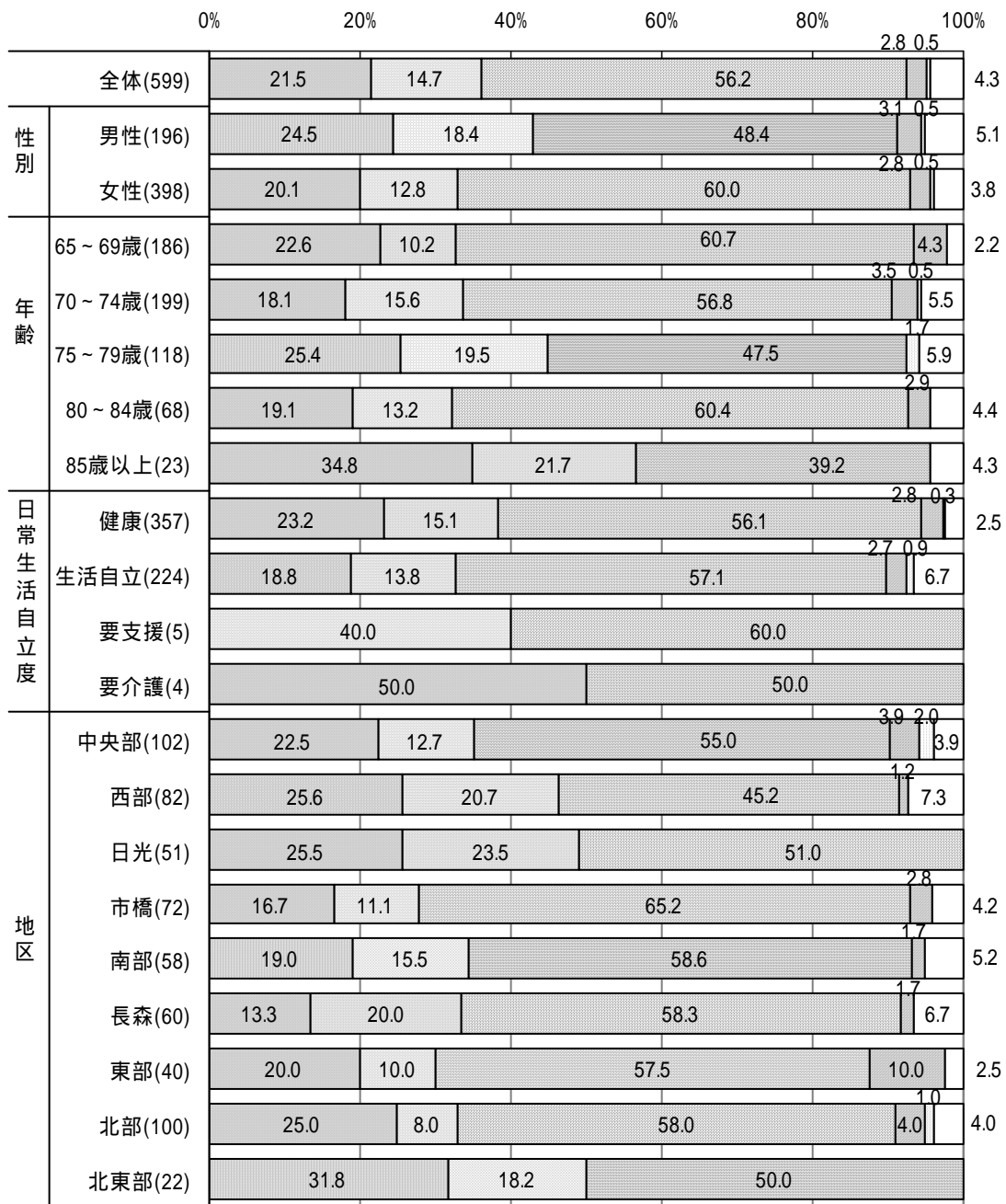
() 内は有効回答数

【満足度】

「満足」と「やや満足」を合わせた割合をみると、36.2%が満足しています。「不満」と「やや不満」を合わせた割合は3.3%となっています。

性別では男性、年齢別では85歳以上で満足度が高くなっています。地区別に見ると、北東部、日光、西部で満足度が高くなっています。

図1 - 12 健康教育や健康相談の満足度



□ 満足 □ やや満足 □ ふつう □ やや不満 □ 不満 □ 無回答

()内は有効回答数

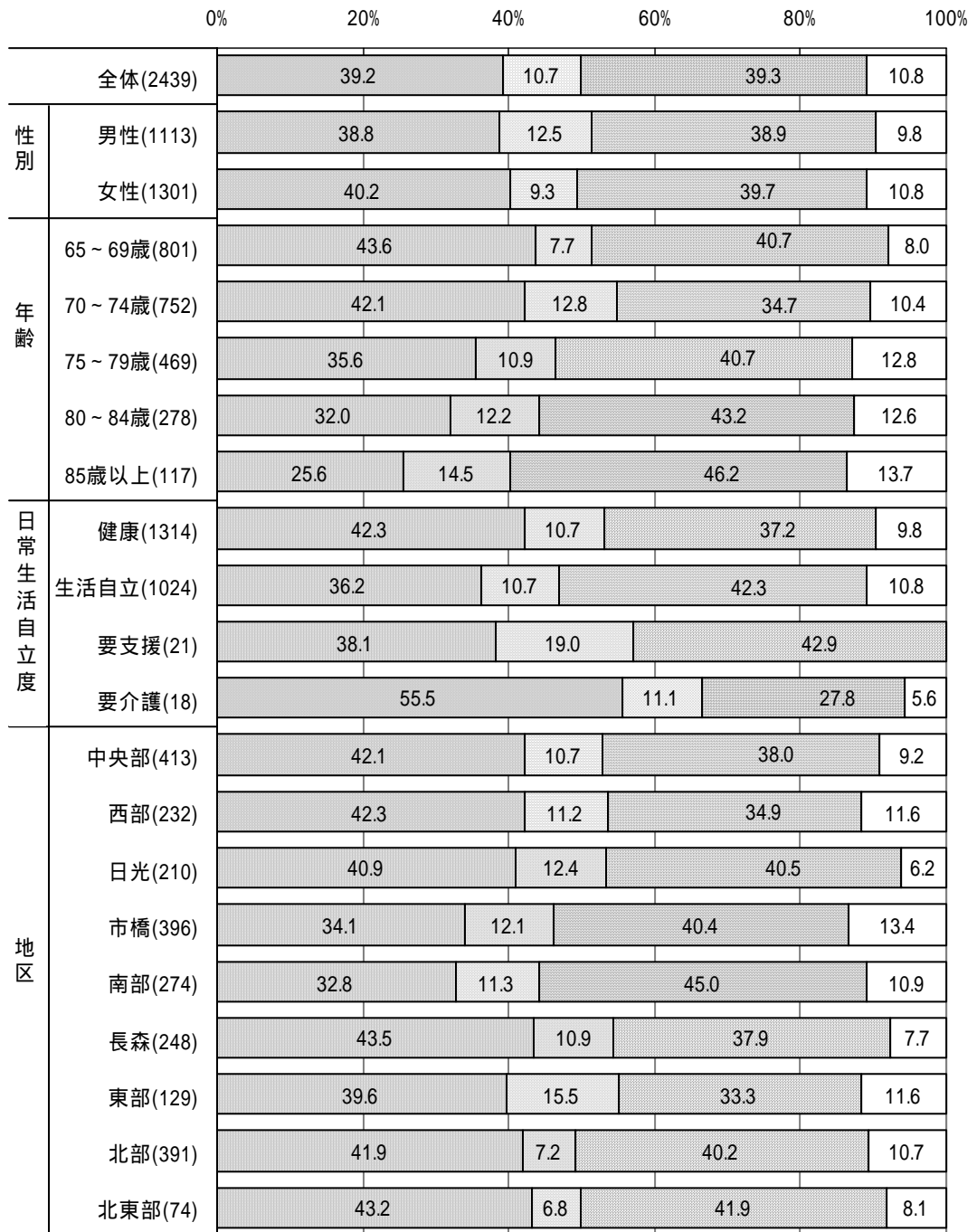
【今後の希望】

今後の希望をみると、「受けない」が 39.2%、「受けたくない」が 10.7%となっています。

性別では大きな差異はみられません。年齢別では、若くなるほど「受けない」が高くなる傾向があります。日常生活自立度別では、要介護の人で半数以上が「受けない」と回答しています。

地区別では、南部、市橋で「受けない」が低くなっています。

図 1 - 13 健康教育や健康相談の希望



□ 受けない □ 受けたくない □ わからない □ 無回答

()内は有効回答数

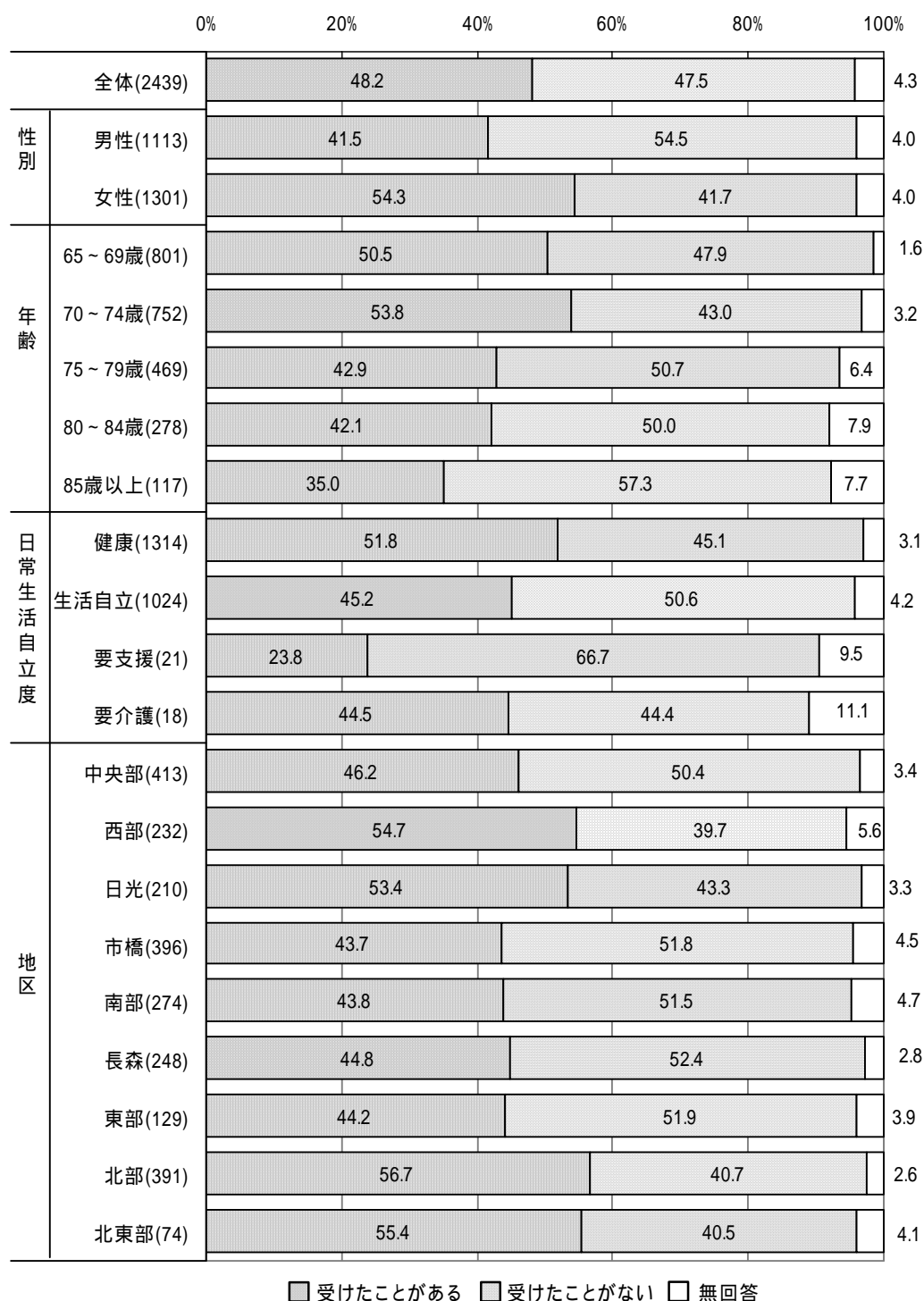
(2) 健康診査やがん検診

【受けた経験】

健康診査やがん検診を受けたことのある人は、48.2%となっています。性別では女性が高く、年齢別では前期高齢者で高くなっています。また、日常生活自立度別では、要支援の人が低くなっています。

地区別にみると、中央部、市橋、南部、長森、東部で「受けたことがある」が5割以下となっています。

図1 - 14 健康診査やがん検診を受けた経験



□ 受けたことがある □ 受けたことがない □ 無回答

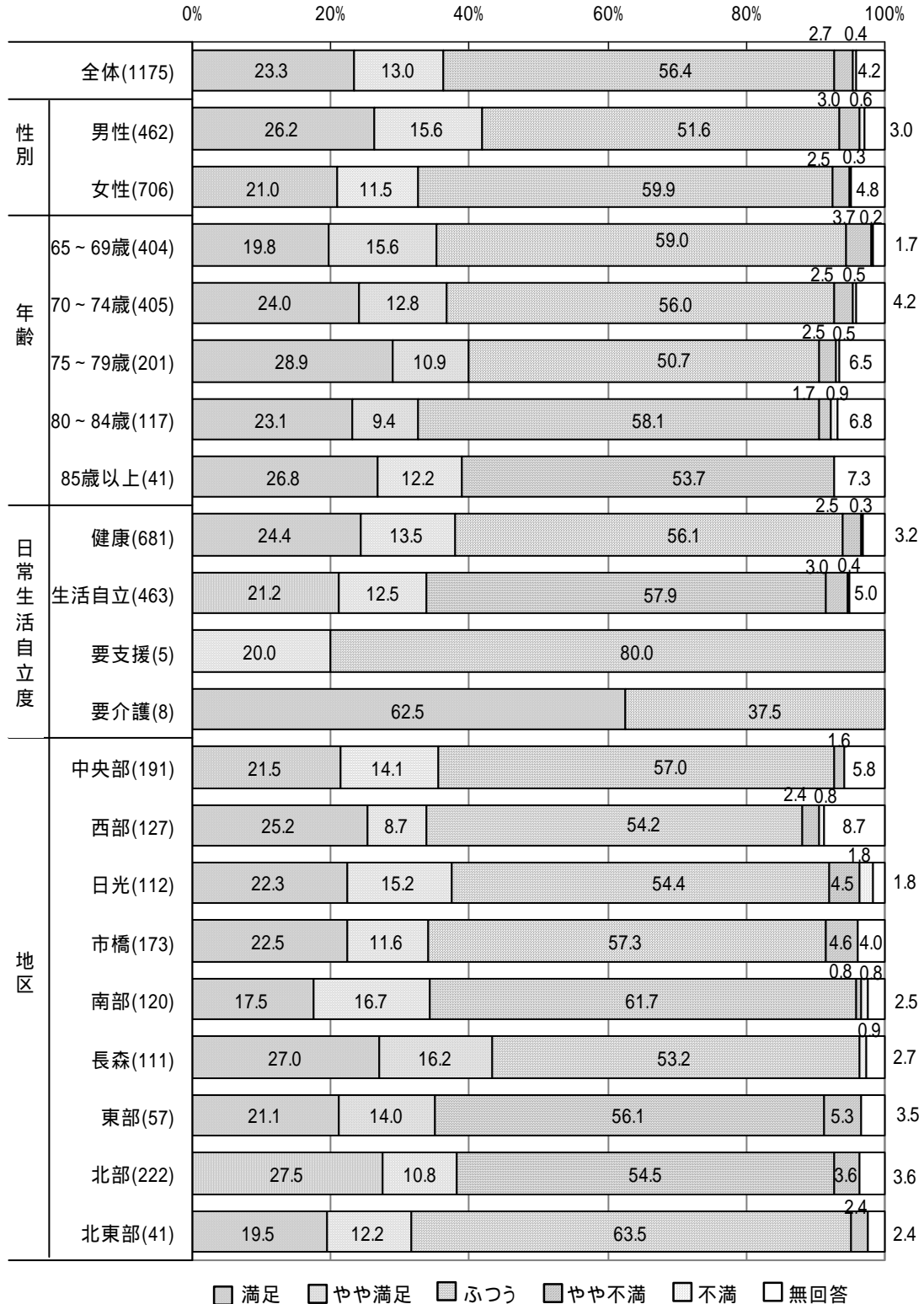
() 内は有効回答数

【満足度】

「満足」と「やや満足」を合わせた割合をみると、36.3%が満足しています。「不満」と「やや不満」を合わせた割合は3.1%となっています。

性別では男性、年齢別では75～79歳、85歳以上で満足度が高くなっています。地区別にみると、長森での満足度が高くなっています。

図1 - 15 健康診査やがん検診の満足度



□ 満足 □ やや満足 □ ふつう □ やや不満 □ 不満 □ 無回答
 () 内は有効回答数

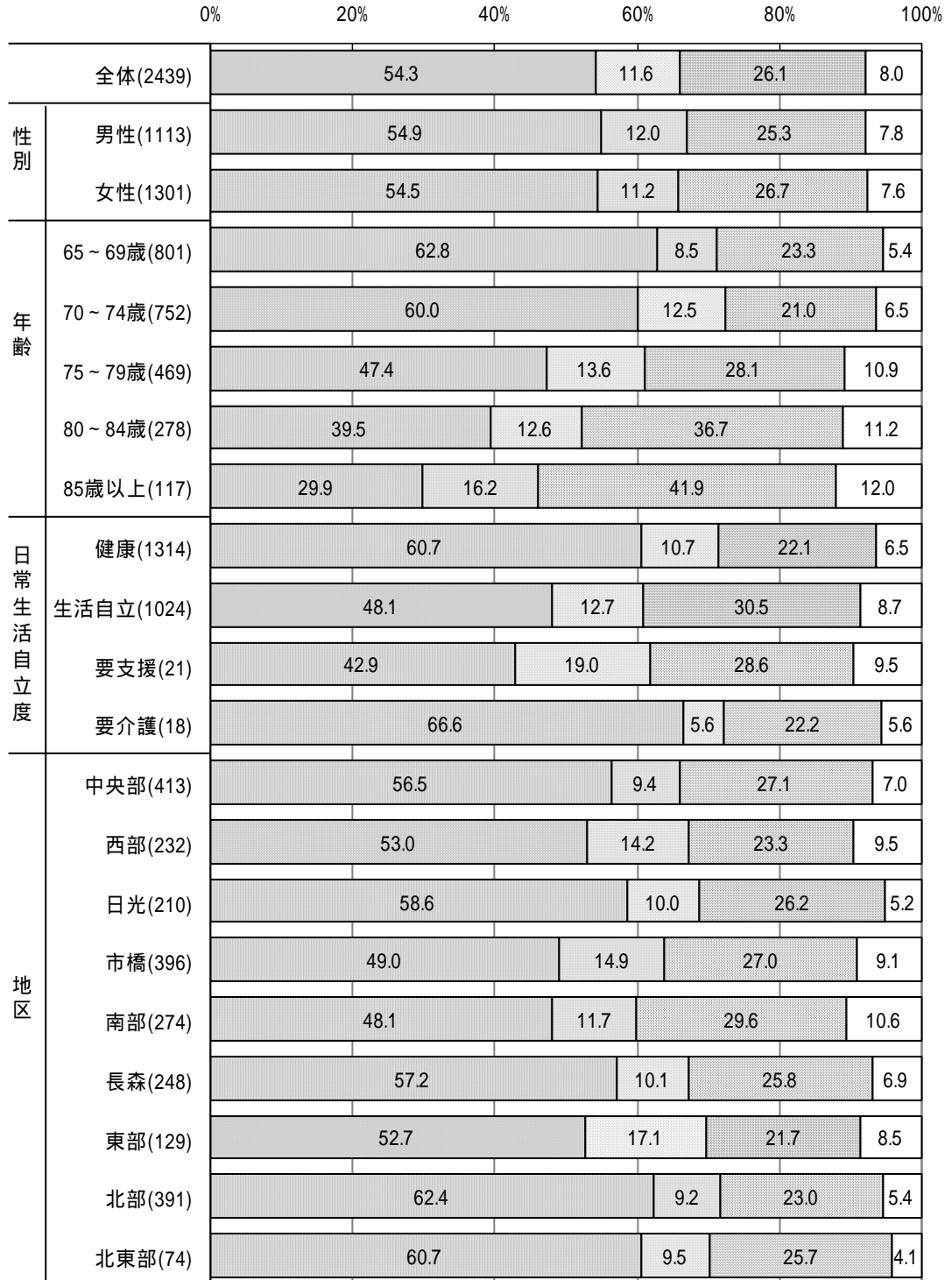
【今後の希望】

今後の希望をみると、「受けない」が54.3%、「受けたくない」が11.6%となっています。

性別では大きな差異はみられません。年齢別では、若くなるほど「受けない」が高くなる傾向があります。日常生活自立度別は、健康である人と要介護の人で「受けない」が高くなっています。

地区別にみると、北部、北東部で「受けない」が高く6割を超えています。

図1 - 16 健康診査やがん検診の希望



□ 受けない □ 受けたくない □ わからない □ 無回答

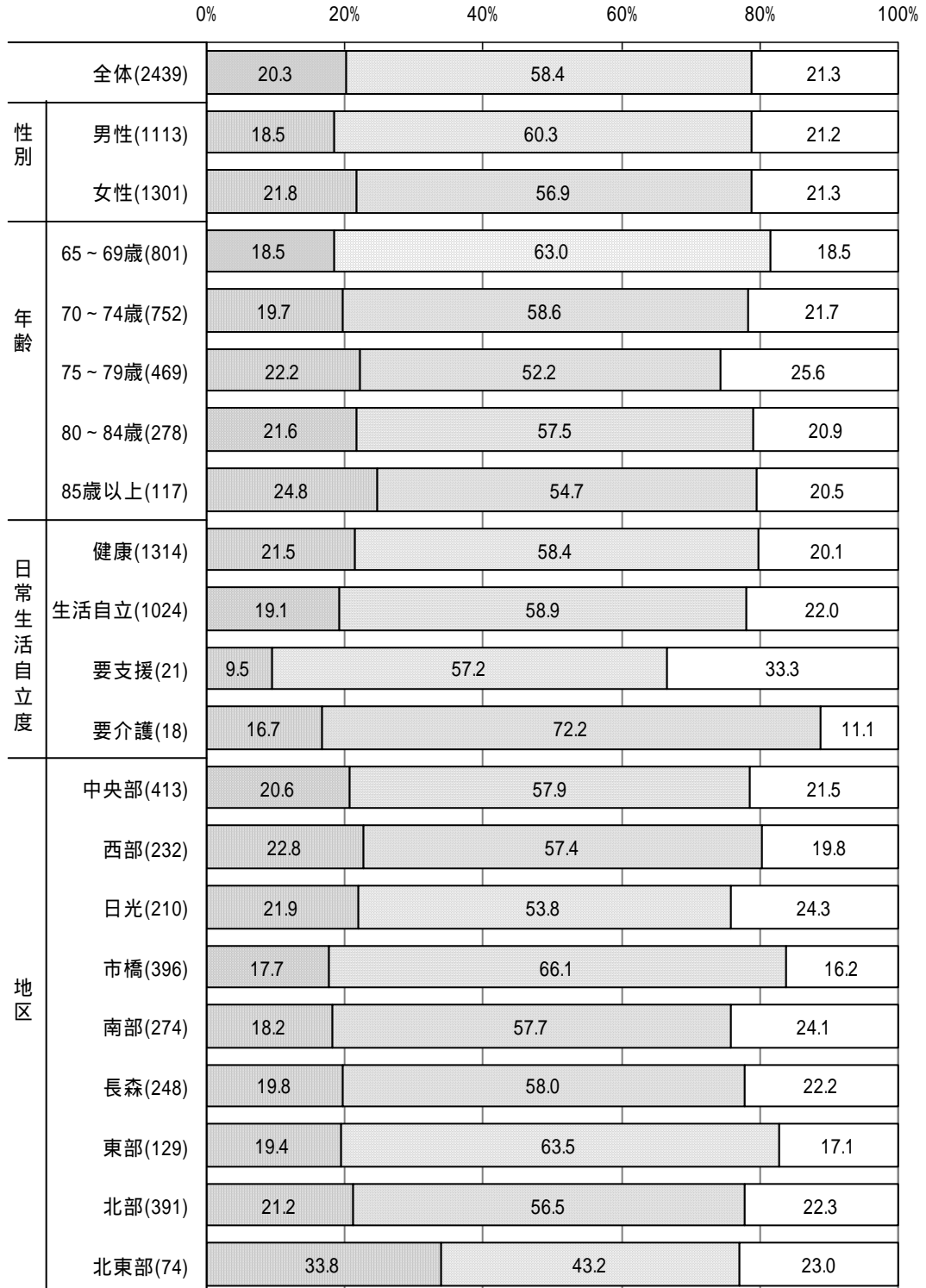
(3) 在宅介護支援センター

【周知度】

在宅介護支援センターを知っている人は、20.3%となっています。性別では女性が高く、年齢別では年齢が高くなるほど高くなる傾向があります。また、日常生活自立度別では要支援の人が低くなっています。

地区別にみると、北東部で「知っている」が高くなっています。

図1-17 在宅介護支援センターの周知度

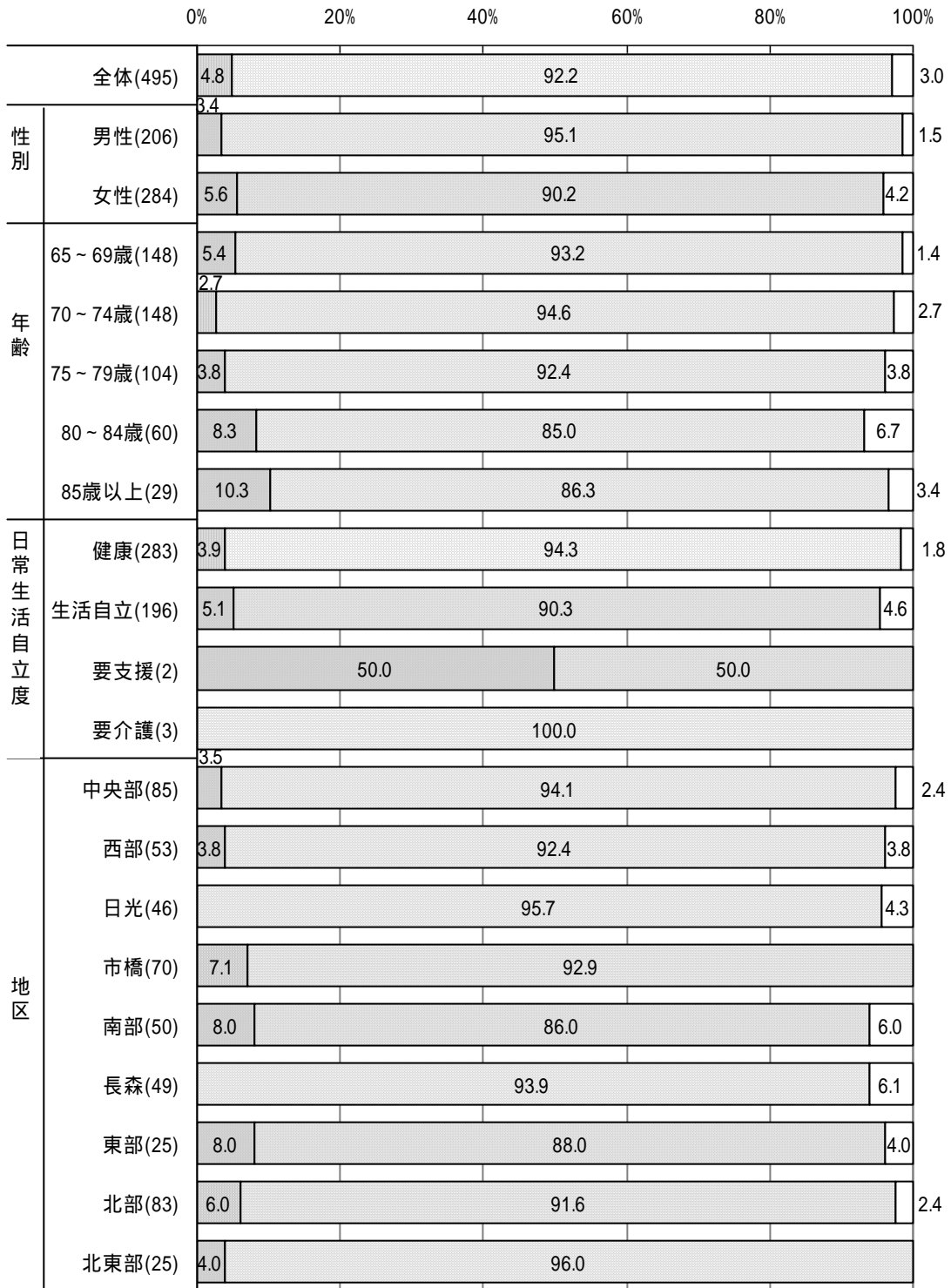


■ 知っている □ 知らない □ 無回答

【利用経験】

在宅介護支援センターを利用したことがある人は、4.8%となっています。性別では女性が高く、年齢別では後期高齢者で高くなっています。

図1 - 18 在宅介護支援センターの利用経験



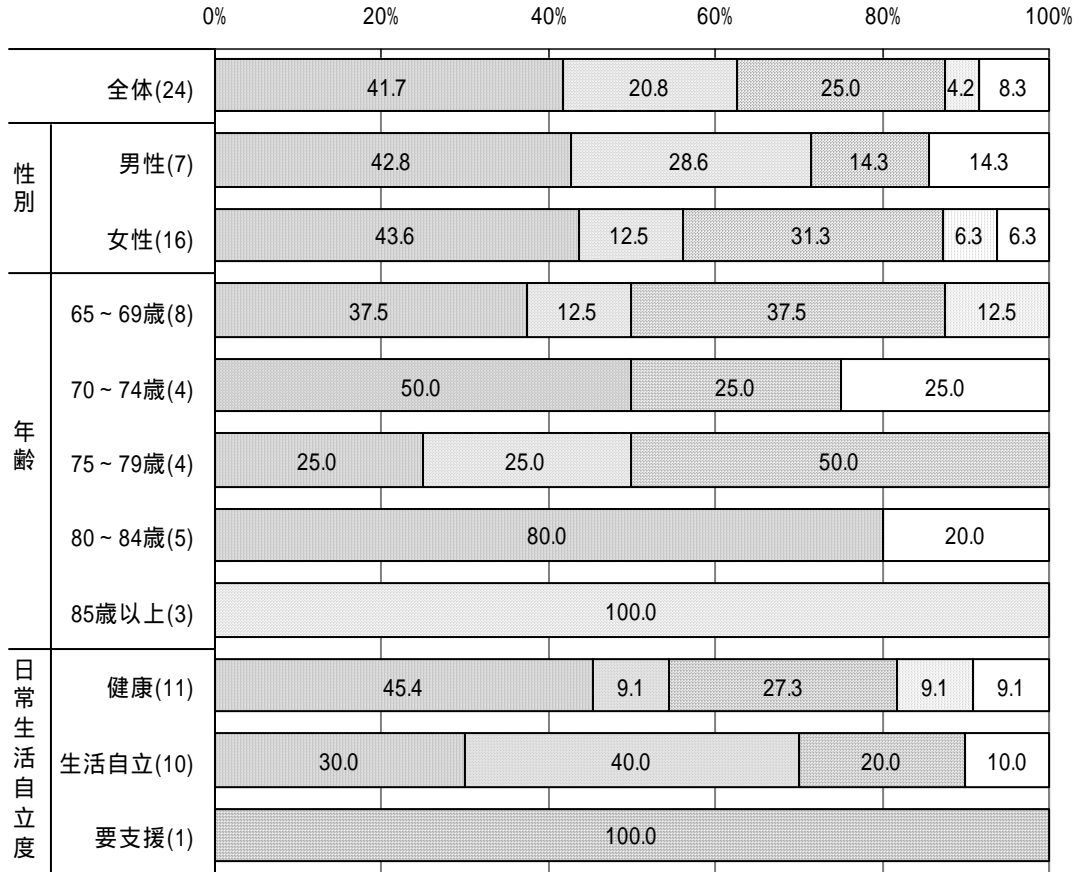
■ 利用したことがある □ 利用したことがない ▨ 無回答

() 内は有効回答数

【満足度】

「満足」と「やや満足」を合わせた割合をみると、62.5%が満足しています。「不満」の割合は4.2%となっています。

図1 - 19 在宅介護支援センターの満足度



■ 満足 ■ やや満足 ■ ふつう □ 不満 □ 無回答

(注) 「やや不満」という選択肢があったが該当者はいなかった
「要介護」の回答者はいなかった

() 内は有効回答数

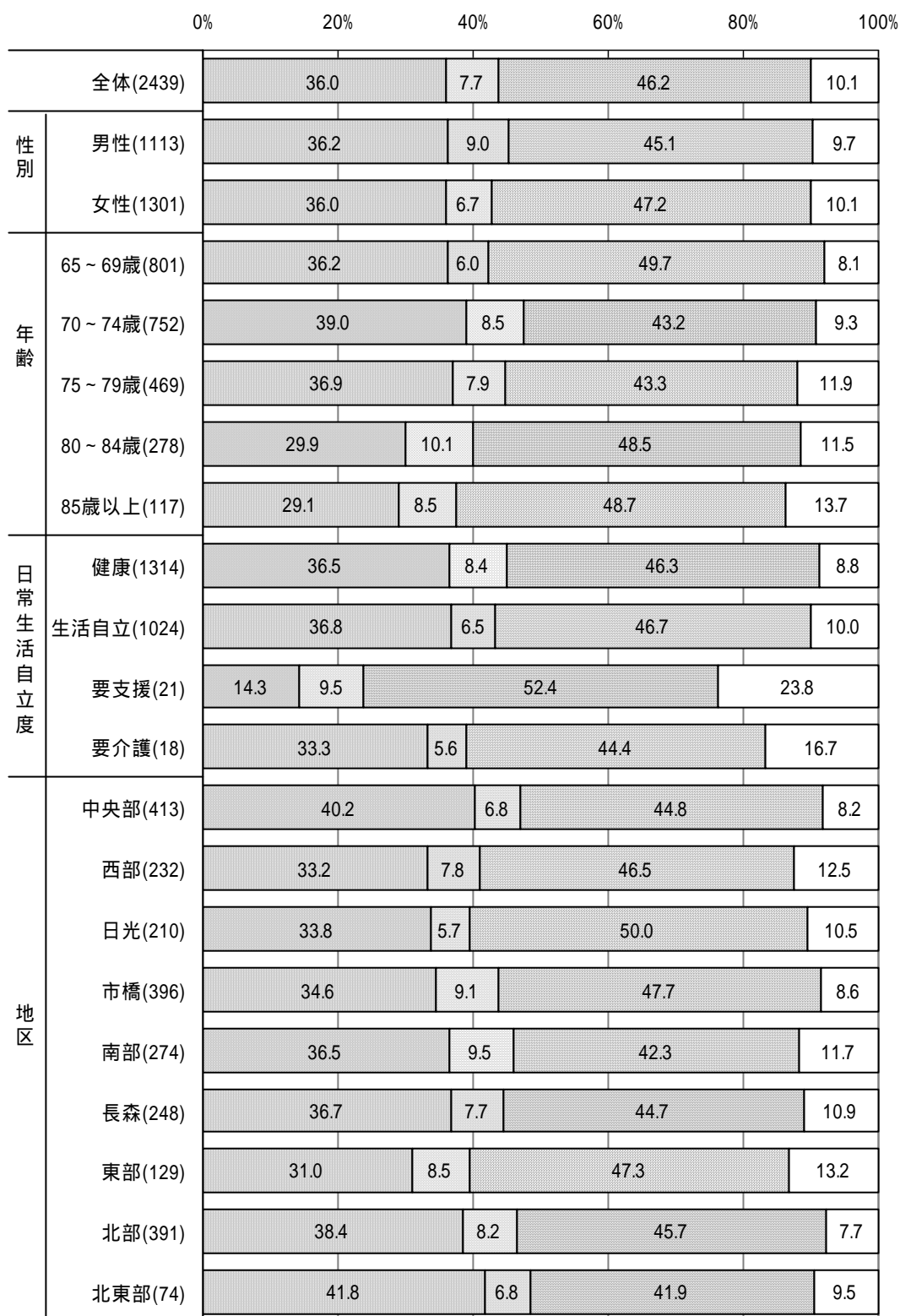
【今後の希望】

今後の希望をみると、「利用したい」が36.0%、「利用したくない」が7.7%、「わからない」が46.2%となっています。

性別では大きな差異はみられません。年齢別では、80歳以上で「利用したい」が低い傾向にあります。

地区別では、北東部、中央部で「利用したい」が高くなっています。

図1 - 20 在宅介護支援センターの利用希望



□ 利用したい □ 利用したくない □ わからない □ 無回答

() 内は有効回答数

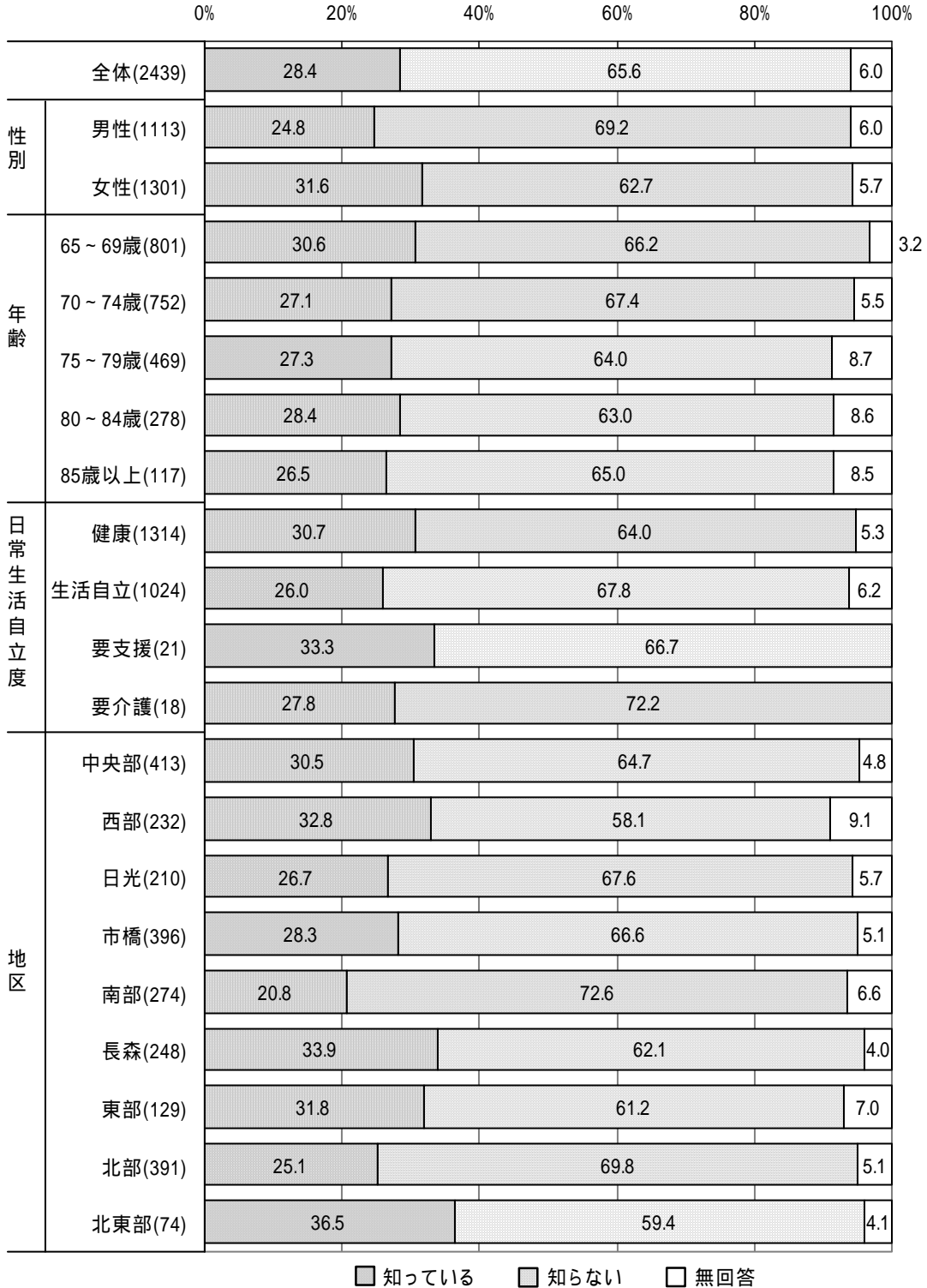
(4) ケアハウス・生活支援ハウス・高齢者世話付住宅

【認知度】

ケアハウス・生活支援ハウス・高齢者世話付住宅を知っている人は、28.4%となっています。性別では女性が高く、年齢別では大きな差異はありません。また、日常生活自立度別では要支援の人が高くなっています。

地区別では、北東部で「知っている」が高くなっています。

図1 - 21 ケアハウスなどの周知度



□ 知っている □ 知らない □ 無回答

()内は有効回答数

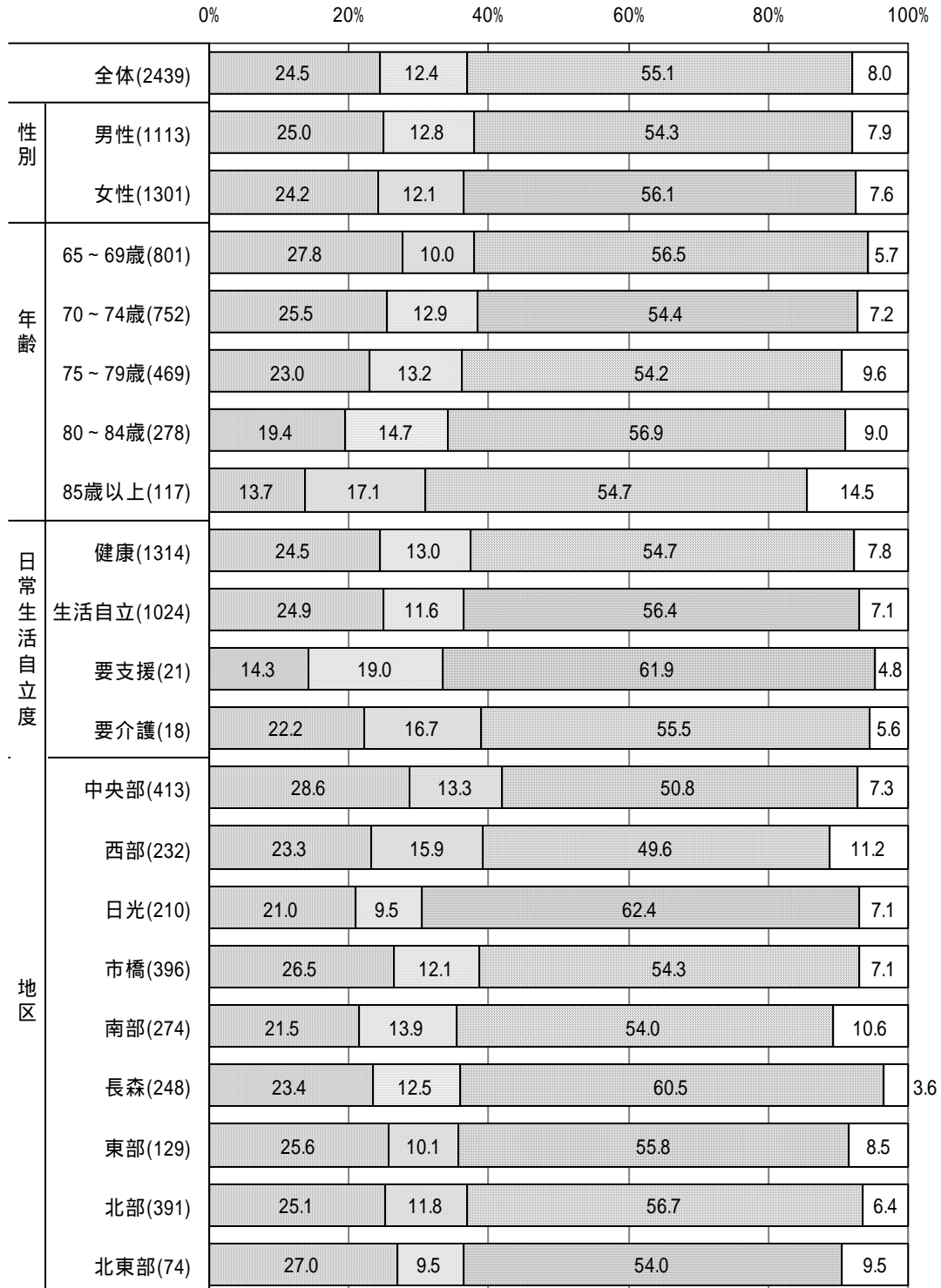
【今後の希望】

今後の希望をみると、「利用したい」が24.5%、「利用したくない」が12.4%、「わからない」が55.1%となっています。

性別では大きな差異はみられません。年齢別では、若くなるほど「利用したい」が高くなる傾向があります。

地区別では、日光、南部で「利用したい」が低くなっています。

図1 - 22 ケアハウスなどの利用希望



□ 利用したい □ 利用したくない □ わからない □ 無回答

8 食事の状況

食事の状況は、「自宅で調理した食事」が95.0%となっています。「自宅で調理した食事」について、性別では女性で高く、年齢別では80歳以上で低くなっています。家族構成別にみると、「自宅で調理した食事」はひとり暮らしで低く、「店で売っている調理済食品(そうざい)」が高くなっています。日常生活自立度別では、「自宅で調理した食事」が生活自立、要介護の人で低くなっています。

表1 - 2 食事の状況

(単位；%)

区分		自宅で調理した食事	店で売っている調理済食品 (そうざい)	店で売っている弁当	出前による食事 (店屋物)	配食サービスによる食事	外食	その他	無回答
全体(2439)		95.0	24.6	7.8	2.1	1.3	17.3	2.2	2.0
性別	男性(1113)	94.1	23.3	9.3	1.4	1.4	18.4	2.2	1.9
	女性(1301)	96.2	25.9	6.7	2.6	1.2	16.2	2.2	1.8
年齢	65～69歳(801)	95.4	22.5	7.7	1.4	1.9	19.2	1.5	1.4
	70～74歳(752)	96.3	25.5	6.5	2.3	1.1	19.1	2.0	1.7
	75～79歳(469)	95.3	26.0	8.5	3.0	0.9	14.3	1.7	2.1
	80～84歳(278)	92.4	28.4	10.4	1.1	1.1	15.1	5.0	2.5
	85歳以上(117)	93.2	20.5	8.5	4.3	1.7	9.4	4.3	2.6
家族構成	ひとり暮らし(372)	88.7	33.1	9.1	1.3	2.4	21.2	5.9	2.2
	高齢者のみの世帯(959)	96.6	26.5	9.4	2.6	1.6	19.2	1.6	1.5
	その他の世帯(1076)	96.4	20.4	6.0	1.9	0.7	14.3	1.6	1.9
日常生活自立度	健康(1314)	96.7	22.4	6.1	1.9	1.1	17.7	1.7	1.8
	生活自立(1024)	94.5	28.3	10.2	2.2	1.6	17.9	2.7	1.4
	要支援(21)	95.2	33.3	4.8	9.5	4.8	0.0	0.0	0.0
	要介護(18)	94.4	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	5.6	0.0

()内は有効回答数

「その他」として記入は、次のとおりです。

入院中。(2件)

時々出前を頼む。

娘夫婦と共に。

外食は1人では勇気がない。

家中が食べることで唯一の楽しみですから食費は惜しみません。

夫婦世帯ですから、妻の料理、外食は2日1回。

金がないので食べない時もある。

現在糖尿病治療食を配食で食事をしています。1日3食2300円です。4月から12月。今後も続ける予定です。

糖尿病になったことがあり、糖尿病に対する配食サービスによる食事。

好きなものを自分で作って食べる。

近隣からのいただきもの。

給食弁当が余ったときにたまに食べます。

夕食だけ隣の娘の家から。

食材サービスと自家調理の併用。

別居家族による食事。

土日息子宅。その他夕食娘が作ってくれる。

自家用野菜使用。

ケアハウス入居自立生活。

近所の人から(そうざい)を戴く時があります。

自分で調理した食事。

インスタント食品による食事。

副食は子どもが調理する。

家族。

老人用に安く配食サービス知らない。

たまに外食もするが、基本的には自宅で食事をしている。

仕事には弁当持参してます。

日曜日には外食。

私が作った食事を3人共食べています。

妻が無理をして食事を作っていますが将来は配食サービスその他で対応していかなければならないと思います。

家庭の食事が多い。外食は月2~3位のペース。

パン。

病院の食事。

近くの息子の家で。

入院給食。

近所の親しくしている食堂（親切）。

肉類はポリープができるので食べない。

自宅で調理した食事を主にしています。

勤務先の給食。

9 地域福祉権利擁護事業

地域福祉権利擁護事業の認知度は、「知っている」が15.8%、「知らない」が80.8%となっています。性別、年齢別、家族構成別では、大きな差異はみられません。日常生活自立度別では要介護の人で「知っている」が高くなっています。

図1 - 23 地域福祉権利擁護事業の認知度

